

新入会員の紹介

日本が誇る推進工法の技術で防災・減災に貢献します！

レジェンドパイプ工法協会

問い合わせ先：〒432-8001 静岡県浜松市西区西山町1831-4 アサヒエンジニアリング(株)内
Tel：053-485-2050 Fax：053-485-2052
<http://www.legend-pipe.jp/>

このたび(一社)日本非開削技術協会に入会させて頂きましたレジェンドパイプ工法協会です。当協会は2018年1月に協会を設立し現在は会員数21社、北海道から九州地区まで全国で普及活動を行っております。当協会は推進工法(非開削)の技術を活用し、目詰まりしにくい専用の集排水管(MPDパイプ)を地面深くに布設することで、地盤内の地下水を集水・低下させ、地すべり・液状化現象の抑制工法を提案しております。

近年、日本各地ではゲリラ豪雨や大地震が頻発し、特に山間部における地すべり被害、都市部、沿岸埋立地における液状化現象が発生し、インフラ設備や個人住宅に大きな被害が生じています。こうした現象を未然に防ぐためにも、平常時より地盤内の地下水位を低下させることが防災、減災の観点からも重要と考えています。

2018年北海道では胆振東部地震によって各地で地すべり・液状化の被害が発生しました。北広島市大曲地区、厚真町新町、厚真町豊沢では地すべりが発生し、また札幌市清田区、豊平

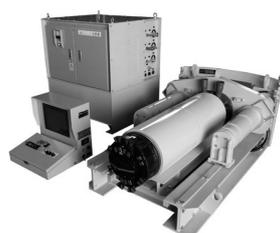
区では液状化現象がそれぞれ発生し、道路陥没、家屋の損壊等の被害が発生しました。当協会では昨年度より地すべり・液状化対策工事を実施し、これまで北広島市、厚真町、札幌市内において約4kmに渡り施工を行っております。また今年度からは2016年熊本地震で液状化被害が発生した熊本市の近見地区、高江地区においても当工法による地下水位低下工事が施工されます。

また全国では3万~4万箇所の大規模宅地造成地が存在し、静岡県熱海市における土石流被害のように大雨により地すべりを起こす危険性のある造成地が数多く存在します。さらに国外に目を向けますと、アジアの発展途上国では大地震の発生により被害が甚大と想定される国が多く存在しております。当協会は、この国の防災・減災・国土強靱化のために貢献していくとともに、貴協会への入会を通して、世界の国々に日本が誇る推進技術を活用した防災・減災技術である当工法の技術をアピールさせていただければと所望しております。

どうぞよろしく申し上げます。



集排水管 (MPDパイプ：φ 310mm)



リターン型掘進機



施工状況 (北広島市)